

1 類・2 類の区別

表1 建築工事用シートの性能基準 (JIS A 8952 からの抜粋)

項目	1 類	2 類
引張強さ×伸び (1) k N・mm {k gf・mm}	49.0 {5000} 以上で 1 試験片の最低が 44.1 {4500} 以上	-
引張強さ N {k gf} (2)	-	490 {50} 以上
引裂強さ N {k gf} (3)	対応する方向の引張強さの 5% 以上かつ 49.0 {5} 以上	対応する方向の引張強さの 5% 以上
接合部引張強さ (4)	引張強さの 70% 以上	
はとめの強さ N {k gf}	2.45L {0.25L} (5) 以上	1.47L {0.15L} (4) 以上
耐貫通性	3m 合格 (6)	
防炎性	薄地 (450g/m ² 以下) のものは、JISL1091 (繊維製品の難燃性試験方法) の A-1 法の区分 3 および D 法の区分 2 に適合するもの。厚地 (450g/m ² 超) のものは、JISL1091 の A-2 法の区分 3 および D 法の区分 2 に適合するもの。	

- (1) タテ、ヨコ各々 3 個の試験編の測定値について引張強さ×伸びの値を求め、各々の平均をその方向の引張強さ×伸びの値とする。
- (2) 試験片の幅は、シートでは 3cm とするが、メッシュシートの場合は、縦、横それぞれ 30cm の区間で、糸本数の最も少ない測り方で、その糸本数を数え、試験片はその 1/10 の糸本数の幅とする。
- (3) タテ、ヨコ各々に対応する方向の引張強さの測定値に対する割合。
- (4) 融着、縫製などによるシート材相互の接合で、タテ、ヨコ各々の接合部のそれに対応する方向の引張強さの測定値に対する割合。
- (5) L は、はとめの感覚 (mm)
- (6) 重量 5 k g の足場用鋼管を 3m の高さから自由落下させ、貫通又はシートが著しい損傷を生じないこと。

表2 建築工事用メッシュシートの認定基準 (仮設工業会認定基準から抜粋)

項目	1 類
引張強さ×伸び (1) k N・mm {k gf・mm}	68600 {7000} 以上
引張強さ N {k gf} (2)	1471 {150} 以上
はとめの強さ N {k gf}	981 {100} 以上
防炎性	合格
耐貫通性	3m 合格 (6)

- (1) JIS A 8952 と同等試験。
- (2) 2 類ラッセル編み等の編み物の場合は、295N {30Kg} 以上。
- (3) JIS A 8952 と同等試験。
- (4) JIS A 8952 と同等試験。
- (5) 1 類は、重量 4.8kg の足場用鋼管を 4m の高さから自由落下させ貫通しないこと。